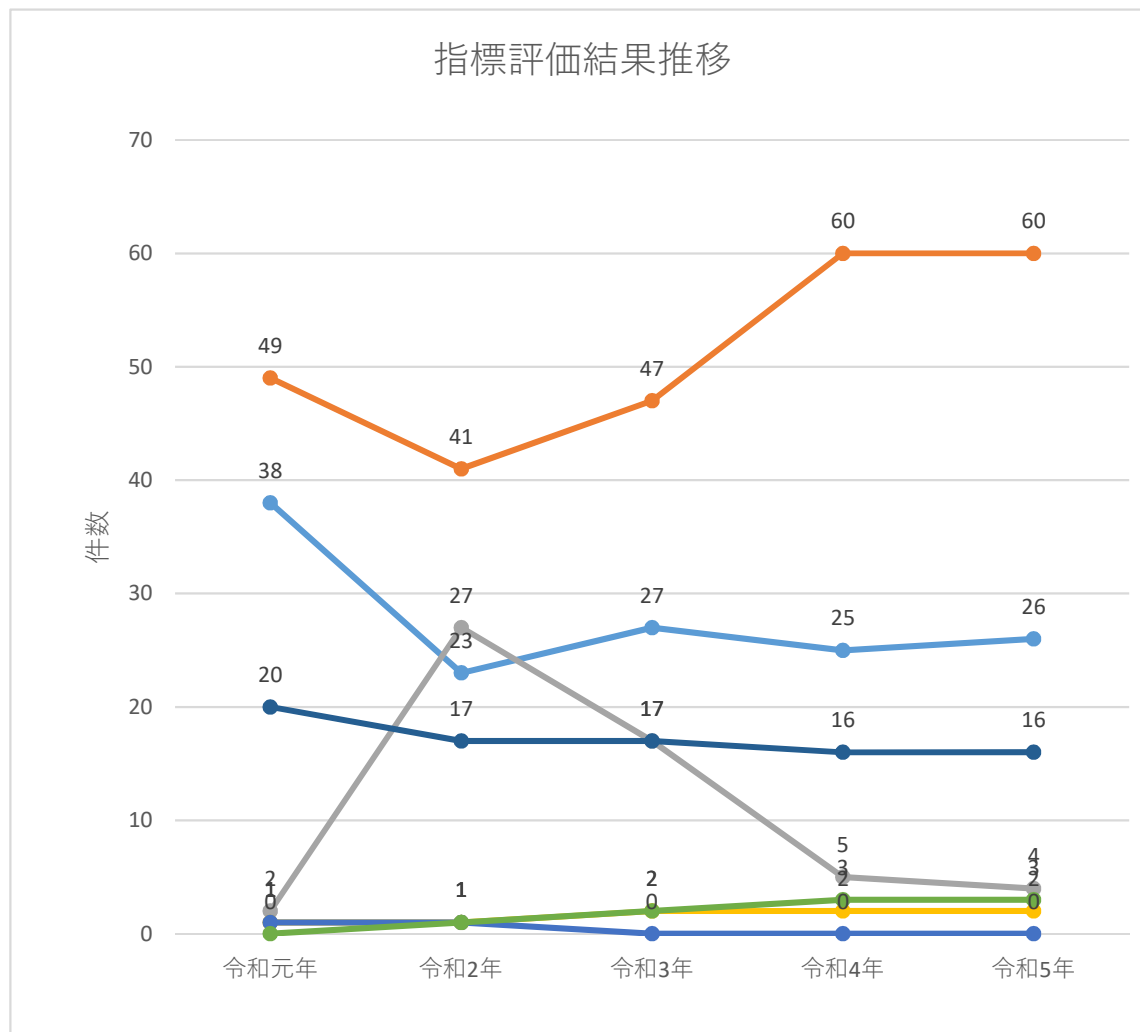


川口市文化芸術基本計画（第1期）の総合評価について

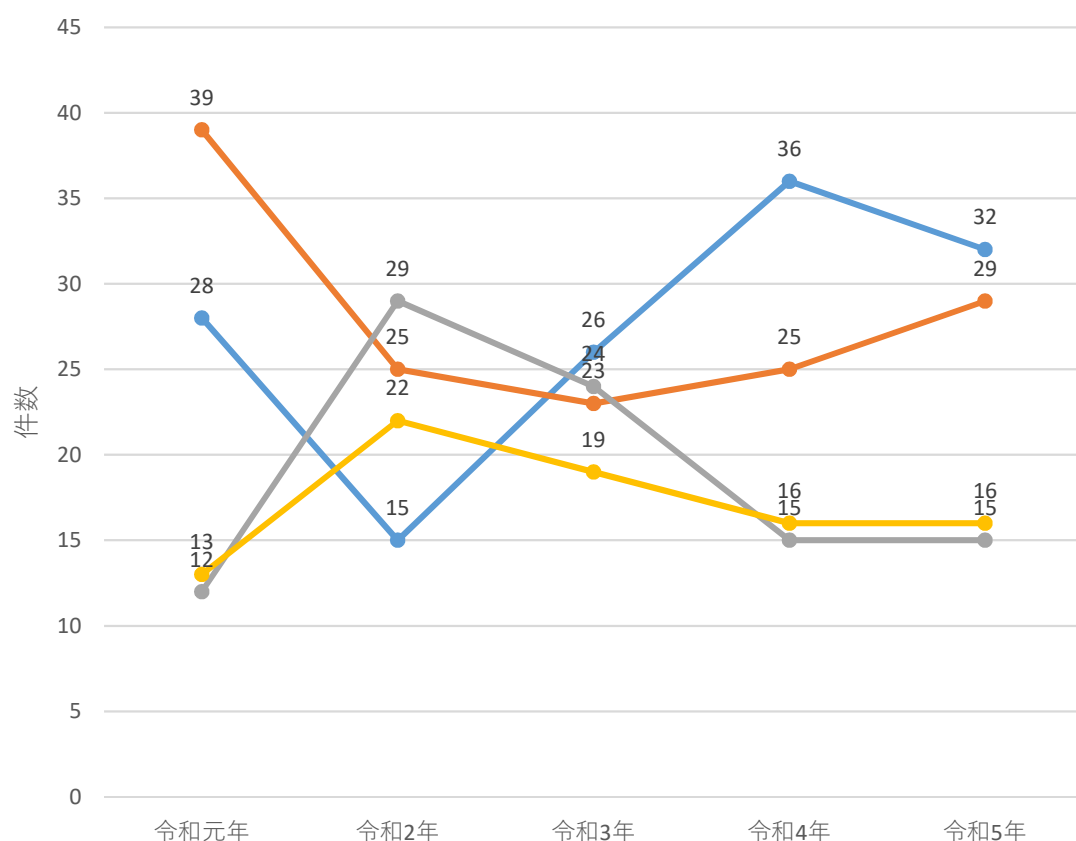


	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
達成	38	23	27	25	26
未達成	49	41	47	60	60
中止	2	27	17	5	4
検討	1	1	2	2	2
研究	1	1	0	0	0
廃止	0	1	2	3	3
指標設定なし	20	17	17	16	16

【指標評価について】

令和2年、3年と新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止となった。令和4年以降、大半の事業が再開されたが一部中止のままの事業がある。未達成が増加している原因として、多くの事業で指標の目標値を年々増加させていたため、コロナ禍で大きく減少した数値が目標値を達成することは困難だったためと推測される。

視点評価結果推移



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
● A (55点以上)	28	15	26	36	32
● B (50～54点)	39	25	23	25	29
● C (40～49点)	12	29	24	15	15
● D (39点以下)	13	22	19	16	16

【視点評価について】

令和2年、3年と新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止となった際には視点評価においてもC評価、D評価が増加した。しかしながら指標評価とは異なり、事業が再開すると視点評価については比較的早くコロナ禍以前の水準を回復した。令和元年に比べ令和5年の方がD評価が増加しているのは、廃止、中止した事業の影響に依るところが大きい。

【第2期評価に向けて】

第1期の評価に際しては、数多くの事業が評価の対象に位置づけられていたが、中には類似する事業も多数あったがそのほとんどが別々の事業として評価されていた。第2期の評価に際しては、評価の対象に位置付ける事業について、事業の統合を行うなどブラッシュアップが必要である。また、指標の目標についてもこれまでの実績値等を踏まえて設定すべきである。